

榎原市立図書館だより

平成28年8月20日発行
第35号

榎の樹

図書館資料収集事業
について

P2～3

読書の秋のブックリスト

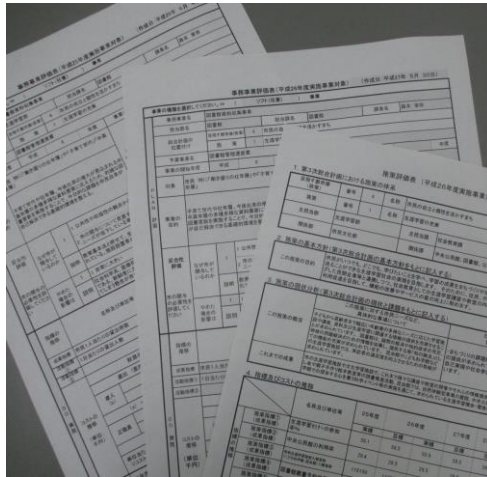
P4～7

お知らせその他

P8



図書館資料収集事業 について



「檀原市事業計画」については、「事務事業評価」として内容が公表されています。詳細は、檀原市ホームページを参照願います。

数年来、檀原市図書館協議会で議論が継続されてきた図書館資料の収集と老朽図書の更新について、該当予算の傾向や近隣自治体の情勢を含めて概要をまとめました。図書館運営の基盤である図書資料費と財政規律との両立について、今後も留意してゆく必要があります。

檀原市立図書館が、蔵書目標の30万冊を達成した平成18年以降、政策判断として図書資料費の縮減が図られてきました。財政規律とサービス維持の両立を課題として、図書館自身も積極的に取り組んできました。図書館開設による蔵書形成が一段落したことをうけて、財政規律との両立を図る方向性として継続してきましたが、社会情勢の変化や制度改正などにより、図書の一部に実情にそぐわない老朽化や不都合が生じつつあることから、図書更新の方向性について、基本的な考え方を再調整する必要に迫られることになりました。

そうしたことを受けて、図書館関係者や政策・財政関係者の尽力により、平成26年度より図書資料費の取扱いについて見直しを図られることになりました。26年度以降、シーリングカット率の緩和と資料費総額の現状維持が図られています。しかしながら、県内情勢への対応や市民サービスの水準維持の観点から、図書費規模の維持について、今後も継続的な取組が必要であることには変わりはありません。図書館協議会においても、「図書の更新について計画性に基づいた取り組みが必要」との指摘と提言がなされたことから、図書館資料収集事業において数値目標に基づいた改善計画を設定するに至りましたが、今も計画内容の完全な実施は行えていません。

懸案となっている必要最小限の図書更新を実現するため、図書館が檀原市事業計画の中で事業化している6事業のうち、図書館資料収集事業の達成を最優先した予算編成を継続しています。シーリングカット率が10%から1%に緩和されるなど、図書館にとって歓迎すべき状況が整いつつありますが、数年来続いてきた貸出冊数等の減少には、まだ完全に歯止めがかかっていません。ようやく現れ始めた減少の鈍化傾向を確かなものにするため、またこれまで集中的に実施してきた社会科学系図書の更新について費用対効果を検証するためにも、図書資料費の総額規模については、今後さらに一定期間維持する必要があると捉えています。

財政環境や外部環境の変化に見舞われているのは、檀原市立図書館に限ったことではなく、多くの図書館に共通する課題です。県内12市の図書館については、この数年は図書資料費をおおむね現状維持することで、貸出冊数などの利用実績を維持している様子が見えられます。各図書館とも、不要不急の支出を回避しながら、おはなし会や催事の実施、関係団体等との連携による館内展示や経費ゼロ事業の拡充など、予算要求のみに頼らない事業展開に取り組んでいますが、人口減少傾向の顕在化や図書館サービスの基盤である関係予算がかつての規模のようではなくなったことなどにも影響され、運営上の様々な工夫を迫られているのではないのでしょうか。

見方を変えれば、そうした外部環境の変化は、図書館サービスを提供する側にとっても、方向性を見直す好機となるのかもしれません。図書資料費の潤沢さを背景にリクエスト本などの複本を豊富に揃えられた時代には、「図書館は無料貸本屋……」といった批判も生まれましたが、限られた財源を最大限活用しなければならない現在では、それぞれの図書館が、「蔵書の網羅性の確保とその健全な維持」や「新しいサービス」といった点に留意しながら、日々の事務事業について、図書館サービスとしての優先度や必要度を問われるようになっていきます。

指定管理者制度や民間活力との連携など、図書館の運営法にも選択肢や幅が生じたことで、図書館サービスの内容も、今後精緻に問われることになるのではないのでしょうか。

(1) 檜原市立図書館の各指数の状況(12市比較)

	貸出冊数(前年度) (児童)	資料費予算額 (単位 千円)	シーリングカット (%)	住民単価*1 (単位 円)	単価順位 (12市中)	総額順位*2 (12市中)
19年度	648,909(181,311)	15,726		126	5/12	3/12
20年度	609,925(176,037)	15,596		125	6/12	3/12
21年度	585,100(182,592)	14,600		118	6/12	3/12
22年度	555,905(178,284)	14,146		112	7/12	3/12
23年度	514,558(174,243)	12,733	▲10	101	9/12	4/12
24年度	504,432(179,082)	11,248	▲10	90	8/12	5/12
25年度	491,524(177,386)	9,943	▲10	79	11/12	7/12
26年度	471,715(176,215)	10,393	▲5	83	10/12	6/12
27年度	453,684(169,926)	11,001	▲3	88	10/12	5/12
28年度	449,941(173,430)	10,949	▲1	88	10/12	5/12

*1 住民単価 自治体における公共図書館の図書資料費の総額を人口で除した額＝住民ひとり当たりの図書資料費／年。

*2 総額順位 県内12市について、それぞれの公共図書館の図書資料費の総額を、自治体単位で序列化した場合の順位。

(2) 県内12市の状況

	資料費予算合計額 (単位千円)	貸出冊数合計数 (前年度)
19年度	202,181	5,161,515
20年度	185,794	5,207,782
21年度	182,678	5,340,236
22年度	162,786	5,403,075
23年度	152,262	5,250,888
24年度	149,784	5,182,654
25年度	147,718	5,064,653
26年度	148,846	4,953,184
27年度	149,510	4,863,743
28年度	150,749	4,982,727

留意事項

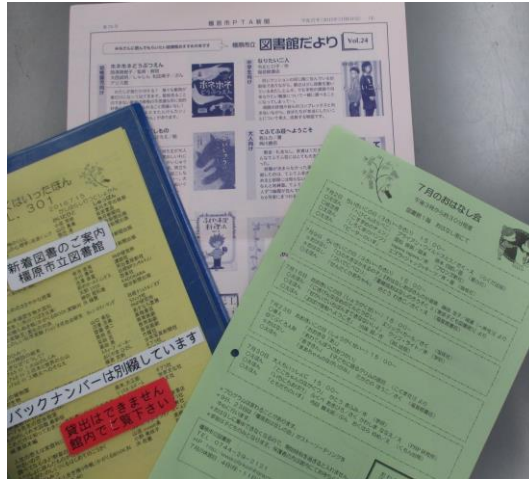
檜原市立図書館の場合、この10年で図書資料費、貸出冊数ともに約30%縮減したが、児童貸出については約4%に留まっている。(子ども読書活動推進計画に基づく各取組が堅調に推移していることや、未成年図書の新規調達に力を入れていることなど、実施施策の結果が統計数値の上でも裏付けられる)

県内の町立図書館には、図書資料費規模や貸出冊数が、県内の市立図書館の一部よりも優位を保っている館が存在する。

自治体別の住民ひとり当たり図書資料費(単価)を比較した場合、人口規模で上位に位置する自治体ほど不利になる傾向がある。しかし最終的には、各自治体の施策選択や各図書館の対応によっても大きく左右される。

予算額や数値については、(社)日本図書館協会発行の「日本の図書館 統計と名簿」の各年度版に拠った。ただし28年度は速報値。

読書の秋の ブックリスト



再録した図書は、図書館関係者や読書団体の皆さんによって紹介されてきたものの一例です。「これらの本でないといけない」といったものではありません。子どもと本をつなぐための「ひとつのヒント」として、広く捉えていただければ幸いです。

子どもたちの読書活動を推し進める方策として、乳幼児～ヤングアダルトを対象に、図書館が定期的な作成・配布している「新着案内」のほか、「広報かしはら」「図書館だより」、「PTA新聞」や「おはなし会ちらし」などで、図書の紹介に努めています。読書の秋を控えて、これまで図書館関係者によって紹介されてきた図書群の中から抜粋して再録します。対象年齢については、「ひとつの目安」として、ゆるやかに捉えていただければ幸いです。

ブックリスト(1) おおむね0歳の方へ

書名	著者名	出版社
あつぷつぶ	中川 ひろたか	ひかりのくに
いないいないばあ	松谷みよ子	童心社
かおかおどんなかお	柳原 良平	こぎま社
がちゃがちゃどんどん	元永 定正	福音館書店
くだもの	平山 和子	福音館書店
ここよここよ	かんざわ としこ	福音館書店
こぶこぶごぼごぼ	駒形 克己	福音館書店
しゅっぱつ しんこう!	山本 忠敬	福音館書店
じゃあじゃああびりびり	まつい のりこ	偕成社
どうぶつのおやこ	藪内 正幸	福音館書店
いい おかお	松谷 みよ子	童心社
ぴょーん	まつおか たつひで	ポプラ社
もうおきるかな?	まつの まさこ	福音館書店
だっこして	にしまき かやこ	こぐま社



「いいおかお……」
(松谷みよ子 あかちゃんの本)
瀬川 康男 え 童心社

ブックリスト(2) おおむね1歳前後の方へ

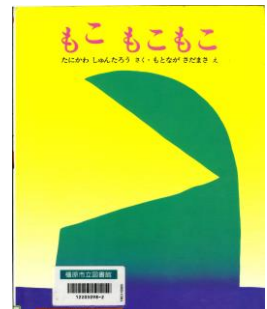
書名	著者名	出版社
いちご	平山 和子	福音館書店
ころころころ	元永 定正	福音館書店
どうぶつのおかあさん	小森 厚	福音館書店
おつきさまこんばんは	林 明子	福音館書店
おやすみ	なかがわ りえこ	グランママ社
がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	福音館書店
こちょこちょ	福知 伸夫	福音館書店
がたんごとん がたんごとん	安西 水丸	福音館書店



「がたんごとんがたんごとん」
安西 水丸 さく 福音館書店

ブックリスト(3) おおむね2歳前後の方へ

書名	著者名	出版社
おんなじおんなじ	多田 ヒロシ	こぐま社
でんぐり でんぐり	くろい けん	あかね書房
きんぎょがにげた	五味 太郎	福音館書店
しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	こぐま社
たまごのあかちゃん	かんざわ としこ	福音館書店
ちいさなうさこちゃん	ディック・ブルーナ	福音館書店
ちいさなねこ	石井 桃子	福音館書店
でてこいでてこい	はやし あきこ	福音館書店
どうすればいいのかな？	わたなべ しげお	福音館書店
もこもこもこ	谷川 俊太郎	文研出版



「もこもこもこ」
たにかわ しゅんたろう さく
もとなが さだまさ え
文研出版

ブックリスト(4) 幼児(3~5歳程度)の方へ

書名	著者名	出版社
ごろごろ にやーん	長 新太	福音館書店
かさかしてあげる	こいで やすこ	福音館書店
キャベツくん	長 新太	文研出版
おまじないさん	舟崎 克彦	ベネッセ
おばけのてんぶら	せな けいこ	ポプラ社
がたごと ばん たん	パット・ハッチンス	福音館書店
しりたがりやのふくろうぼうや	マイク・サラー	評論社
きりのもりのもりのおく	ニック・シャラット	フレーベル館
すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー	偕成社
ぼくのおじいちゃんのかお	天野祐吉	福音館書店
もりのなか	マリー・ホール・エッツ	福音館書店
ひよこちゃん	ますだ ゆうこ	そうえん社
おおかみのおいしやさん	オルガ・ルカイユ	岩波書店
かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房
ぼちぼちいこか	マイク＝セイラー	偕成社
ぺにろいやるのおにたいじ	ジョーダン	福音館書店
コッケモーモー！	ダラス＝コンテ	徳間書店
ひよこちゃん	ますだ ゆうこ	そうえん社
おおかみのおいしやさん	オルガ・ルカイユ	岩波書店
ねずみのすもう	梅田 俊作	偕成社
きょうりゅうたちががぜひいた	ジェイン・ヨーレン	小峰書店
おおかみと七ひきのこやぎ	グリム 原作	福音館書店
おならうた	谷川 俊太郎 飯野和好	絵本館
こぶとり	松谷 みよ子 村上康成	童心社
11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる	こぐま社



「ごろごろ にやーん」
(こどものとも傑作集)
長 新太 作・画
福音館書店



「ねずみのすもう」
大川 悦生 作
梅田 俊作 絵 ポプラ社

ブックリスト(5) 小学生低学年の方へ

書名	著者名	出版社
あたまのうえにりんごがいくつ	セオ・レスイーグ	ペンギン社
ちいさなねこ	石井 桃子	福音館書店
きょだいなきょだいな	長谷川 摂子	福音館書店
三びきのやぎのがらがらどん	マーシャ ブラウン	福音館書店
ねずみさんのおかいもの	多田 ヒロシ	こぐま社
ぐりとぐらとくるりくら	なかがわ えりこ	福音館書店
中をそうぞうしてみよう	佐藤 雅彦	かがくのとも
まちのねずみといなかのねずみ	イソップ	金の星社 他
うんちしたのはだれよ!	ヴィルナー	偕成社
さかさまさかさま	マリオ ラモ	平凡社
くださいな	中川 ひろたか	偕成社
あしたが生まれるまで	ジェーノア・デイビス	小学館
あいつもともだち	内田 麟太郎	偕成社
わたし	谷川 俊太郎	福音館書店
すてきな三にんぐみ	トミー・アンゲラー	偕成社
ちいさなねこ	石井 桃子	福音館書店
おぼけりんご	ヤーノシュ	福音館書店
まるこさんのおねがい	角野 栄子	福音館書店



「すてきな三にんぐみ」
トミー＝アンゲラー さく
いまえ よしとも やく
偕成社

ブックリスト(6) 小学生中学年の方へ

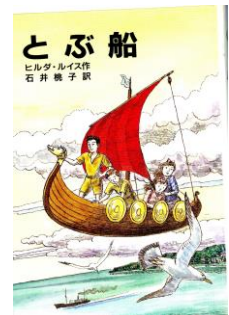
書名	著者名	出版社
綱渡りの男	モーディカイ・ガースティン	小峰書店
黒ネコジェニーのおはなし	エスター・アベリル 松岡 享子	福音館書店
おめでとうのおはなし	山下 明生 角野 栄子	講談社
大どろぼうホツツェンプロッツ	プロイスラー	偕成社
せかいのひとびと	ピーター・スピア	評論社
くわずにようぼう	稲田 和子 再話	福音館書店他
びんぼうがみとふくのかみ	富安 陽子	小学館
トチの木の1年	太田 威	福音館
ネコとクラリネットふき	岡田 淳	クレヨンハウス
せかいーおいしいスープ	マーシャ・ブラウン	岩波書店 他
はなびのはなし	たかとうしょうはち	福音館
子リスのアール	ドン・フリーマン	BL出版
ふしぎなやどや	はせがわ せつこ	福音館
エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット	福音館
ぼくたちの散歩	工藤 直子	理論社
霧のむこうのふしぎな町	柏葉 幸子	講談社
宮沢賢治絵童話集①～	宮沢 賢治	くもん出版
さくらんぼクラブにクロがきた	古田 足日	岩崎書店



「エルマーのぼうけん」
ルース・スタイルス・ガネット
さく
ルース・クリスマン・ガネット
え
わたなべ しげお やく
子どもの本研究会 編集
福音館

ブックリスト(7) 小学生高学年の方へ

書名	著者名	出版社
犬になった王子(チベット民話)	君島 久子	岩波書店
ウルスリのすず	ゼリーナ・ヘンツ	岩波書店
床下の小人たち	メアリー・ノートン	岩波書店
精霊の守り人	二木 真希子	偕成社
オオカミ族の少年	ミシュエル・ペイヴァー	評論社
とぶ船	ヒルダ・ルイス 石井桃子訳	岩波書店
夜の小学校で	岡田 淳	偕成社
願がかなうふしぎな日記	本田 有朋	PHP 出版
トミーが三歳になった日	ミース・バウハウス	ぼるぷ出版
海底2万マイル	ジュール・ベルヌ	偕成社
ぼくはいつでもぼくだった	いっこく堂	くもん出版
グレッグのダメ日記	ジェフ・キニー	ポプラ社
スプーンおばさんのゆかいな旅	アルフ・ピリオイセン	学研
あなたが世界を変える日	セヴァン・カリス・スズキ	学陽書房
テーオバルトの騎士道入門	齊藤 洋	理論社
ハックルベリイ・フィンの冒険	マーク・トウェイン	福音館書店
シートン動物記	アーネスト・トリプトン・シートン	集英社 他
百枚のドレス	エレナ・エステイス	岩波書店



「とぶ船」
ヒルダ・ルイス 作
石井 桃子 訳
岩波書店

ブックリスト(8) 中学生以上の方へ ヤングアダルトミニ展示(7月22日~8月31日)からの抜粋

書名	著者名	出版社
読書が楽しくなるニッポンの文学		
生きるって、かっこわるいこと?	芥川龍之介 他	くもん出版
なりたい二人	令丈 ヒロ子	福音館書店
ふたつの月の物語	富安 陽子	講談社
カフェ・デ・キリコ	佐藤 まどか	講談社
クオ・ヴァディス(上)(下)	シャンケヴィッツ	福音館書店
読書の時間に読む本	西本 鶏介	ポプラ社
キャッチャー・イン・ザ・ライ	サリンジャー	白水社 他
ジュニア版水滸伝	平川 陽一	汐文社
ねらわれた星	星 新一	理論社
アニメーションの色職人	柴口 育子	徳間書店
自分はバカかもしれないと思った		
ときに読む本 14歳の世渡り術	竹内 薫	河出書房新社
遠い日の呼び声	ロバート・ウエストール	徳間書店
料理の教科書ビギナーズ	牧野 直子	新星出版社
遠野物語	柳田 國男	岩波文庫 他
建築のしくみ	小沢 宏	新星出版社
狐狸庵閑話	遠藤 週作	日経BP社 他
坊っちゃん	夏目 漱石	岩波書店 他
山椒大夫・高瀬舟	森 鷗外	岩波書店 他



「遠野物語 山の人生」
柳田 國男 著
岩波書店

榎原市立図書館

榎原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-29-1011

http:
//www.city.kashihara.jp/
tosyokan

編集後記

伝説

閉架書庫の一角に、古びた小さな本が眠っている。「子供のための大和の伝説」は、昭和45年に初版発行され、昭和49年には第7版が重ねられた。裏扉にブラウン方式のブックカードポケットの痕跡や公印押印があることから、市立図書館が開館されるよりずっと以前、中央公民館図書室時代に入手、資料化された本であることがわかる。▼各地域の伝承を、最小限の簡潔な筆致によって採取している。再話者の文学的な修飾とはおよそ無縁な、話の骨格そのものの質朴な記述が、かえってこの本の資料としての貴重さを物語っている。わずかな手がかりを頼りに村々に入り、古老から根気よく聞き取りをおこなった実直さが偲ばれる。何世代にもわたって、伝承を守ってきた無数の息遣いが迫ってくる。もし、この小さな本がなかったら、収録された伝承のうちの幾つかは、失われてしまっていたかもしれない。後年、地域の振興や再発見の手段として、伝承の資料化や出版が広まったが、そうした際の基礎資料の役割も果たした。▼本を編んだのは仲川明氏、奈良師範卒業後、小学校訓導を経て、県立奈良図書館に転じた。館長在職中を含めて、本と図書館のために奉仕し、初版発行の翌年に没した。本を記したひと、制作に協力したひと、その貴重さを理解して書棚に置いたひと、すでに存在しない。だが、本は今も存在している。敬虔、謙譲、至善……一冊の本から、教えられることがある。(編者)

記念事業 のお知らせ

榎原市制60周年

し た い を か な え た い

藪内正幸原画展 講演会

榎原市制60周年・榎原市立図書館開館20周年を記念して、「どうぶつのおやこ」シリーズなどで著名な藪内正幸さんの原画展を行います。また展示期間中、藪内正幸美術館館長の藪内竜太さんによる講演会も開催します。

藪内 正幸(やぶうち まさゆき)

1940年大阪生まれ。出版社勤務を経て、新聞、雑誌、図鑑、百科事典等の作画作家として活動。1973年朝日広告賞。「野鳥の図鑑」(福音館)、「野や山にすむ動物たち」(岩崎書店)、「ガンバとカワウソの冒険」(岩波書店)など、著作多数。



展示期間 11月17日(木)～11月26日(土)

会 場 かしはら万葉ホール2F展示ギャラリー

そ の 他 詳細は、広報かしはら、図書館ホームページ、館内チラシ等でお知らせします。他にも秋期事業を実施予定です。詳しくは、順次広報かしはらや図書館ホームページ等でお知らせします。

おはなし室内に自習ができる学習席を設けています。



市内在住の中高生を対象に、7月22日(金)～8月31日(水)の間、図書館1F おはなし室の空き日時を活用した学習席(16席)を設けます。午前の部、午後の部の入れ替え制で、事前の図書館利用カードの作成と当日の抽選申込(要図書館利用カード)が必要です。詳細は図書館ホームページ、館内チラシ等をご覧ください。

表紙の写真

榎原市学校図書館研究会は、市立学校の学校図書館担当教諭で構成されています。研究会の夏期勉強会に図書館員が出講し、図書の修理実務について説明しました。